

みずほCustomer Desk Report 2019/04/23 号(As of 2019/04/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	112.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.92	1.1245	125.83	1.2994	0.7147
SYD-NY High	111.99	1.1262	126.06	1.2998	0.7151
SYD-NY Low	111.85	1.1236	125.77	1.2975	0.7128
NY 5:00 PM	111.94	1.1257	126.02	1.2977	0.7136

NY DOW	26,511.05	▲ 48.49	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	8,015.27	17.20	日本10年債	-0.0300	0.00bp
S&P	2,907.97	2.94	米国2年債	2.3856	0.74bp
日経平均	22,217.90	17.34	米国5年債	2.3838	1.54bp
TOPIX	1,618.62	1.69	米国10年債	2.5858	2.71bp
シカゴ日経先物	22,260	▲ 5	独10年債	0.0220	▲0.05bp
ロンドンFT	—	—	英10年債	1.1885	▲0.55bp
DAX	—	—	豪10年債	1.9365	▲0.55bp
ハンセン指数	—	—	USDJPY 1M Vol	4.61	0.21%
上海総合	3,215.04	▲ 55.75	USDJPY 3M Vol	5.16	0.04%
NY金	1,277.60	1.60	USDJPY 6M Vol	5.75	0.00%
WTI	65.55	1.48	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	187.92	0.79	EURJPY 3M Vol	5.93	▲0.07%
ドルインデックス	97.29	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	6.60	▲0.03%

東京	東京 東京時間のドル円は111.99レベルでスタートするも引き続きイースター休暇となり閑散となる中、動意に欠ける展開が継続。週末に起きたスリランカでの爆発テロについても市場への影響は限定的となり、ドル円は111.93レベルで海外時間へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	イースター休暇(イースターマンデー)で取引参加者が少ない中、海外市場のドル円は先週金曜日の流れを引き継ぎ、112円手前の狭いレンジで推移し、111.94レベルでNYオープン。朝方は米3月中古住宅販売件数が発表され市場の予想を下回ったほか、「トランプ米政権が一部の関係国に対してイラン産原油の制裁免除を終了する」との報道が伝わるが、ドル円の反応は限定的だった。その後も動意の薄い値動きが続き、結局、NY日中値幅は5銭にとどまり、111.94レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルもイースター休暇で主要欧州市場が休場の中、1.1250近辺で小動きが続き、1.1249レベルでNYオープン。特段の材料は見当たらないものの、1.1262レベルまでじりじりと上昇。しかし更なる上値追いは限定され、その後は小幅に値を戻し、1.1257レベルでクローズ。

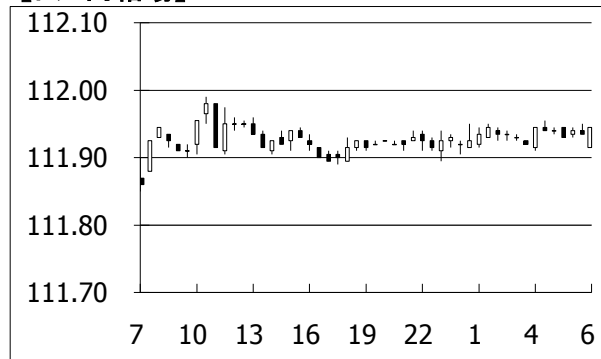
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 -0.15	-0.1
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 5.21m	5.30m

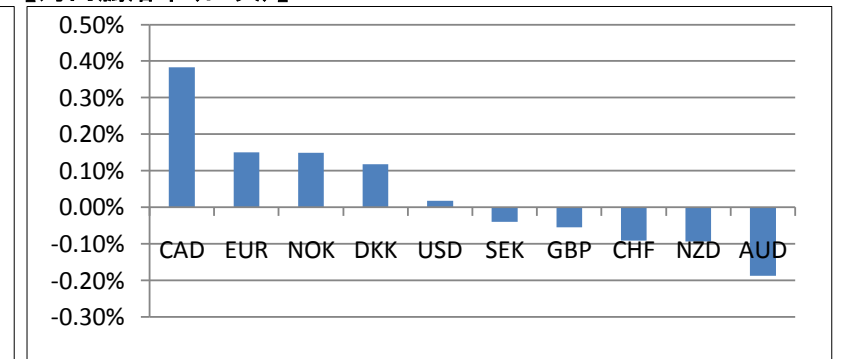
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月23日	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 649k	667k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.10	1.1230-1.1270	125.50-126.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、アジア時間に日経平均株価が持ち直した局面にて111.99円まで上昇したものの、節目の112.00円手前では上値も重く、111.95円を挟んでの小幅な動きとなる。海外時間に、米政権が昨年11月に再発動したイラン産原油禁輸の制裁に関し、日本など8カ国・地域への適用除外を延長しない方針との報道を受けて5ヶ月半ぶりの高値をつけたものの、イースターマンデーの祝日でもあり閑散相場の中、ドル円は小幅な動きに終始した。本日は10連休を控えた本邦実需勢からのフローを背景に、ドル円は引き続き112.00円手前で上値重い推移を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・綱島